

# 學 會

## 第39回日本皮膚科學會岡山地方會

昭和13年10月16日(日曜日)午後正1時より

於廣島市醫師會館

### 1. 蒼鉛劑の吸収竝に排泄に關する研究

(第1報) 石 天 之 樞(岡大)

Originalとして岡山醫學會雜誌に追て發表する豫定。

追 加 清 茂 基

水溶性蒼鉛劑が油狀蒼鉛劑に比して尿中に排出されることの速かなることは明かにして余の経験によるも注射當日に尿中に排泄され17—8日間尿中に證明することを得たり。「エムルジオン」にしたものは尙ほ一層永く尿中に證明することを得たり。

返 答

水溶性蒼鉛劑(Thiobis)は注射後2週間経ても本表に記載して居る2例の様に尙ほ蒼鉛が排出されて居る事が證明されます、が併し非常に微量であります、本表に記載して居らぬ他の例に就ても同様に微量證明されます、

### 2. 「チオビス」の治験

長 谷 信 夫(廣島)

「チオビス」を自家症例に就て使用せるに、1) 使用簡便なること、2) 使用後副作用なきこと特に注射後の疼痛なし、3) 比較的効果あること等よりして他の蒼鉛劑に比較して最も優秀なり、

追 加 清 茂 基

「チオビス」が「サルバルサン」の色に似てゐる爲め誤り靜脈内に注射し死じされたる例を他醫より聞いた1例を追加す

追 加 松 坂 義 正

「チオビス」10回で硬性下疳を治癒させた1例を追加す。

追 加 酒 井 次 郎

「レプラ」に似た頭部全脱毛を起せる微毒患者を蒼鉛劑注射により治療した1例を追加せり、

### 3. 環狀丘疹性微毒疹

長 谷 信 夫(廣島)

最近経験せる頬部環狀丘疹性微毒疹の1例に就て述べたり、詳細は原著に譲る、

### 4. 咬筋護謨腫の1例

松 尾 信 吉(廣島)

咬筋の微毒は稀でない筈なのに余は始めてであるのは藥物療法萬能の境を脱しないものと見える55歳の男。主訴は咀嚼困難。約5年前より始まる、兩側共小指大棒狀腫瘍が2—3箇竝んでゐる。ワ氏反應陰性、剔出標本は乾酪様物質、血管周圍に圓形細胞の浸潤あり護謨腫と思はる。本例により次の古來の常識に一層痛感する。1) 診斷困難な疾病は微毒を疑ひ一應は驅療法を施す事、2) 血液のワ氏反應は診斷の参考にはなつても決して決定的條件とはならない。尙ほ阿龜の或即ち後天性の一部は微毒の成果である事を知つた。

### 5. 先天微毒兒の1例

下 田 圖 南 雄(廣島)

患者、吉岡某、男17歳、店員。初診、昭和13年5月2日。主訴、左鼻口に於ける頑固なる潰瘍。

家族歴、父は腦梅毒にて死亡、母は流産なく再婚して3名の子供を産み現存す。既往症、著患なし。小學校の成績中等、現病症、約1箇月半前に左鼻口に豌豆大の潰瘍を生ず、醫治を受けたも治癒の傾向なく漸次増大し初診時には左鼻口より右鼻口中央部に至る約0.5 cmの潰瘍あり、潰瘍は軽度の壓痛あるのみなり、左右兩側顎腺は數箇指頭大に腫大し壓痛、波動なく硬固なり、肘腺、腋窩腺等の各腺も軽度に腫脹す。胸腹部の内臓及び患部以外の皮膚面には變化認めず。唯軟口蓋の中央部に邊緣帶白色の癢痕治癒の狀を呈する小指頭大の圓孔あり、門齒は上顎部に1箇正常のもの存するのみにて他は發育不良にして小且鋸齒狀を呈す。徴毒性血清検査の結果は強陽性なり。經過、「サルバルサン」2號1本、3號2本の注射にてさしも頑固なる潰瘍も完全に癢痕治癒せり。

#### 6. 井出徽毒反應とワツセルマン氏反應との比較 第1報(其の100例、廣島市立衛生試驗所)

松坂義正 (廣島)  
佐藤技手

原稿未着。

#### 質問 長谷信夫

「イデナゲン」と食鹽水とを混合して後其の効果ある放置時間如何。

#### 追加 根岸博

井出氏反應の優秀性は自分も認めてゐる、此事實は昨年10月松山市で開催せられたる皮膚科學會岡山地方會の席上發表した所と一致してゐる様に思ふ。非常時局の折我が國の所産たる村田氏反應及び井出氏反應の出た事は喜ぶべきことと思ふ。現今優秀なる反應として擧げられる Müller 氏反應、Kahn 氏反應、Meinicke 氏第2清楚反應に比して劣らざるものと思ふ。鋭敏度の強き反

應は又非特異性が高い、この點井出氏反應は少ない様だから良い反應と思ふ。

#### 7. ヘブラ氏疱疹様膿痂疹の1例に就て

平井正敏(岡大)

患者は28歳の農業を職とする女子にして現在妊娠7箇月である。左肘關節窩左上膊兩側腋窩及び下腹部に膿痂を形成して來院した。初め兩腋窩が疼痛性に腫脹し1週間後同部に粟粒大の發疹を生じ夫等が集合して大なる局面を作つた。次で左上膊、左上腿、下腹部に自然に擴がつて膿痂は1—5日で痂皮を作り瘙痒性あり、併し治つても癢痕は残らぬ、發疹が出ぬ時は體温は38.5°C位に昇り食慾不進となる。各局面は膿痂性で表面は穢い灰黃の痂皮で被はれ境界は明瞭で強く發赤して居る、腋窩の糜爛面の邊緣には散在性に粟粒大の膿痂ありこの患者には前回にも妊娠後半期に今回と同様な發疹を來した事が特徴である、治療として硼酸亞鉛華軟膏と1%の「タルタリン軟膏」とを用ひて輕快した。

#### 8. Dühring 氏疱疹狀皮膚炎の2例、

湊次郎(岡大)

最近経験したる Dühring 氏症の2例を報告せり。第1例26歳の女子、發病昭和13年5月初診5月28日殆ど全身に互り定型的の水疱形成あり自覺的に著明なる瘙痒を訴ふ。約2週間の入院に依り全治退院す。第2例68歳の男子、發病昭和13年8月中旬初診、9月12日四肢及び前胸部に定型的の水疱形成を見る、耐へ難き瘙痒を訴ふ。目下入院加療中なるも發疹は全身に蔓延し且反覆再發す。以上2例共沃度加里の外用に依り著明なる症狀増悪を示したり。

#### 9. 帶狀疱疹に就て

黒山眞吉(岡大)

余は最近10年間に於て岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室を訪れたる帶狀疱疹、單純性疱疹、水

痘, 結節性紅斑, 多形滲出性紅斑患者の統計的觀察を試みたり. 其の結果は次の如し. 帶狀疱疹患者の最多なる年は1937年にして17名, 1933, 1934, 1935各年16名, 1929年15名, 1930, 1931各年11名, 1932年10名, 1928, 1936, 各年7名なり. 發生月より見るに帶狀疱疹は8月に最多にして6月, 11月, 12月に最小なり. 又帶狀疱疹患者の發生年齢は30代に最も少なく50代に最も多し, 其の後高齢に至るに従ひ減少するは當然なり. 又前記5病の發生月的關係を見るに帶狀疱疹と多形滲出性紅斑, 單純性疱疹と結節性紅斑とは關係を有するが如く特に後者は其の各月別發生頻度曲線殆ど同一形を取るを見る.

#### 10. 「アクチゾール」治験例

江原敏夫(岡大)

詳細は原著に譲る.

#### 11. 朝鮮人参による皮膚疹に就て

長谷信夫(廣島)

朝鮮人参服用後6日にして右大腿部に2錢銅貨大の紅斑を生じたる男子, 31歳の患者に就て述べたり. 詳細は原著に譲る.

#### 12. 茂木氏温泉素の治療効果に就て

長谷長夫(廣島)

茂木氏温泉を濕疹特に小兒性濕疹, 軟性下疳, 横痃手術後の肉芽促進, 尿道淋等に使用せるに優秀なる効果を収めたり.

#### 13. 耳鼻科領域に於ける濕疹に就て

田中政治(廣島)

耳鼻科領域に於ける濕疹殊に外聽道, 耳鼓及び其の周圍に於ける濕疹を患者250名に就ての統計的觀察及び治療經驗に就て述べた. 詳細は原著に譲る.

#### 14. 急性傳染病と泌尿科領域に於ける疾患の2—3

西川弘(廣島)

福井孝道

最近第4性病及び結節性紅斑が腸「チフス」又は「バラチフス」と診斷せられ又「ルミナル」中毒疹が猩紅熱患者として送院せられたる3症例に就て報告し之より推定して之等泌尿科領域に屬する疾患にありても法定急性傳染病と間違ひ易き症例あることと同時に吾人内科醫に持續發熱を以て來りたる疾患に遭遇せる際は一應之等泌尿科領域の疾患をも念頭に入れて診定すべきものなることを述べ.

追加 松坂義正

膀胱症状を主訴として來たりたる患者にて「チフス」患者であつた1例を追加せり.

#### 15. 特發性葡萄膜炎の臨牀的(特に皮膚科的領域)竝に組織學的所見.

杉本茂憲(廣島)

特發性葡萄膜炎の際に表はるる皮膚白斑竝に毛髮の脱落, 聽器障碍等に就て述べ併せて本症の組織的所見より原因論に及べり.

質問 松坂義正

毛髮脱落の部位及び状態竝に白斑の發生部位及び状態に就て質問す.

#### 16. 今夏廣島市に施行せる「コレラワクチン」接種後に發生せる高度なる

「コレラワクチン疹」の1例(寫眞供

覽) 松坂義正(廣島)

原稿未着.

#### 17. 癩に於ける吉田氏反應に就て

守屋陸夫(大島)

演者は第10回日本癩學會總會に於て吉田氏反應に就て報告せるが今回は更に其の研究を續行し

其の成績を報告せり。検査に使用せる患者は肺結核患者 50 名(男子 42 名, 女子 8 名), 非結核患者 10 名(男子 7 名, 女子 3 名)計 60 名にして年齢は 18 歳より 40 歳に亙り, 病型は總て中等度結節癩なり。而して肺結核患者は其の臨牀症状に應じて之を A, B, C の 3 組とし, A 組の者は輕症結核患者にして B 組は中等度結核患者, C 組の者は重症結核患者なり。D 組は非結核患者とす。A. O. は規定により第 1 號を用ひ體重 50 kg に就き 1 cc の割合とし體重により注射量を増減せり。實驗成績次の如し。

I. A 組に屬する患者は男子 12 名, 女子 3 名, 計 15 名にして此うち弱陽性(+)を示せるもの男子 2 名, 女子 1 名なり。即ち患者 15 名中 3 名に於て陽性の成績を示せり。

II. B 組に屬する患者は男子 16 名, 女子 4 名, 計 20 名なり。このうち中等度陽性(++)を呈せるもの男子 4 名, 弱陽性を示せるもの男子 4 名, 女子 1 名なり。即ち患者 20 名中 9 名に於て陽性の成績を示せり。

III. C 組に屬する者は男子 14 名, 女子 1 名, 計 15 名, このうち強陽性(+++)を示せるもの男子 9 名, 中等度陽性(++)なるもの男子 5 名, 女子 1 名にして 15 名全部に於て陽性の成績を示した。

IV. D 組に屬する者は男子 7 名, 女子 3 名, 計 10 名にして吉田氏反應は全部陰性なり。

以上吉田氏反應の成績を總括すれば次の如し。

1) 非癩患者に於ける結核患者に對しては吉田氏反應は總て陽性を呈せるに反し癩患者に於ける結核患者に對しては 50 名中 27 名(54%)に於て陽性を示すに過ぎず。而して重症結核患者に於ては 100% 陽性を呈するも中等症結核者に於ては 45%, 輕症結核患者に於ては 20% に於て陽性を呈するに過ぎず。

2) 非癩患者に於ける結核患者に對しては吉田氏反應の強陽性, 中等度陽性, 弱陽性は其の結核症の重症, 中等症, 輕症に比例するも癩患者に於

ける結核患者に對しては吉田氏反應の強弱は其の結核症状の重症, 輕症に比例せず,

3) 癩本來の疾患に對しては吉田氏反應は陰性の成績を呈す。

## 18 癩と軍隊 野島泰治(大島)

癩の秘密嚴守に就ては曩に癩豫防法の改正ありて其の秘密漏洩に關しては取扱者に對し相當重き罰則を規定され社會に於ては特別なる事情ある場合は郷黨に隠れて療養所に入所し得る様極めて寛大なる取計らひを許され居るも軍隊に於ては現役豫後備役の者は勿論, 徴兵検査に於ても癩なるために不合格となる時はよし寄留地受験に於ても郷里の人々に知れ家族は勿論親族一同一朝にして不幸のどん底に墜き落さるを普通とす。軍隊に於ても 1 人在營者免除の場合のみならず總ての場合に於て癩豫防法精神に依り對社會的には癩の字を除き只單に兵役法第何條に依り兵役を免除す等の如き形式をとられんことを切望す。若し一般に不可能ならば療養所收容患者のみにても適用の便法を講ぜられんことを望む。現役中癩のため兵役を免ぜられたる者に就ては九州療養所長宮崎博士の調査あるも目下大島に於ては在營中及び應召中癩を病み除除となれる者 13 名あり内發病早きは入營後 2 箇月長きは 4 年, 平均 1 年 9 箇月, 兵役を終へたる後在郷中發病せる者 32 名内除隊後癩の診斷を受けたる最も早きは 6 箇月平均 6 年 4 箇月, 5 年以内のもの 22 名ありこの 6 年 4 箇月は癩確定診斷を受けたる迄の期間にして癩症状は更にそれより早く存在せるものなるべく歸郷後の再發, 歸郷後の感染とを考へるの外在營中の感染にも疑ひを有せざるを得ず, 又入營中癩を發現せるものの中にも入隊後の感染を想像し得るものなりとせず, 大島收容患者中軍隊教育を受けたるもの合計 45 名にして内 39 名は結節癩にして 87% に相當す。結節癩患者の多數なる事實も又在營中感染に疑を置く一論據たり。この 45 名は療養所收容男

患者の約1割にしてこの數字より推定せば我國統計に現はれたる15000の癩患者中軍隊關係者1000名以上を想像し得べく皇軍保健上憂慮すべき事實にして今後は非根絶を要すべき一大問題たるを疑はず。

### 19. 「ヴィタルゴール」の治験例

大道峰雄(岡大)

詳細は原著に譲る。(岡山醫學會雜誌第51年第2號参照)

追加 長谷信夫

30分—40分間注入しておく効果多し。

追加 根岸博

「ヴィタルゴール」溶液は沈澱を生ぜず、深達力は不明なるも消炎作用及び殺菌力強く又刺戟性疼痛を訴へない「ヴィタルゴール」は「プロタルゴール」と同様共によき治淋劑と思ふ。

### 20. 淋疾に對する「ズルフアニールアミ

D」の治験 清茂基(廣島)

原稿未着。

### 21. 女子淋疾並に軟性下疳に對する「ズ

ルフアニールアミド劑」の應用に就

て 小篠浩(廣島)

縣立廣島診療院入院患者(娼妓)の子宮淋101名に主として「ルジール」1日量3.0時として2—4gを使用せし處此迄最も難治とせる子宮淋分泌物が短日にして膿性を去り水様透明となり且又鏡檢上淋菌陰性となり其の效果顯著なるは最も驚異とする處なり。之を使用せざる者の平均治療日數17.47日に對し使用せる者は7.99日にして其の在院日數は其の半ばに達せず副作用を來せる者は20名あり、發疹せるもの2名にして其の他頭痛、胃痛、嘔氣等を訴へしが何れも服藥中止にて治せり。之と同時に軟性下疳患者42名に使用せし處使用せざる者18.1日に對し13.0日にして之又治療日數

短縮せり斯くの如く淋疾のみならず軟性下疳に於ても著效あるを以て我等日常常診治療に従事する者に於ては花柳病豫防止並に治療上に於て缺くべからざるものと信ず。本劑使用に當つては本年7月號體性誌上に於て土屋博士の大量使用御推奨に基くものにして感謝の至りなり。

追加 木谷祐寛

私共の治験例は化膿性外科的疾患ですが恐らくは35000例位に使つて見て居ますが日本製品よりも今の處外國製品「プロントジール」が比較的效果を表はす様である。併し注射のみでは効果少く内服と同時に併用せねば効果が少ない、そして「プロントジール」は連鎖狀球菌に對しては殆ど効果がない様である。

追加 清茂基

副作用として露出部の發疹及び消化器管に對する刺戟に就て追加す。

追加 松坂義正

頓挫療法の効果に就て。

追加質問 湊次郎

- 1) 局所處置如何。
- 2) 「アルベジル」治験例。

### 22. 淋毒性子宮内膜炎の治療に就て余が

20年間の觀察 笠坊博之(廣島)

淋毒性子宮内膜炎の余の20年間の臨牀的觀察特に物理的療法の治療效果に就て述ぶ。詳細は原著に譲る。

### 23. 泌尿器異物標本供覽

島 薫(廣島)

巨大なる腎臟結石、輸尿管結石並に膀胱内異物として「オナニール」の目的にて挿入せるゴム管の1例並に尿道内に「オナニール」の目的にて挿入せる木綿針の1例及び膀胱結石、輸尿管結石の標本を供

覽し之に對する1—2の注意事項に就き述ぶ。

#### 24. 肺轉移を來せる攝護腺肉腫の1例

大島峰雄(岡大)

原著として發表の豫定。

#### 25. 膀胱憩室結石の2例

西川規夫(岡山)

第1例は56歳の女にして右輸尿管開口部後上方に膀胱憩室結石あり、碎石器にて膀胱内に出でたる結石のみを碎石し得たるも憩室内の部分は挟み得ず、手術用膀胱鏡を用ひ結石を膀胱内に挟み出し碎石器にて碎石せり。結石の重量7.9g、表面は微細なる顆粒状をなし灰白黄色、剖面は貝殻の剖面の如く層をなす。分析の結果炭酸石灰にして蔞酸石灰をも混入せり。然るに4箇月餘後再び來院せるに同様憩室結石あり、同様の方法にて結石を取出せるに結石は0.2gにして前より遙かに脆く灰白黄色なる微細なる顆粒の固まりの如き感ありき。第2例は46歳の男にして膀胱後上方より胡桃大橢圓形結石懸垂し上は膀胱憩室内に食込めり。結石碎石後膀胱を見るに膀胱後上壁に大なる開口を有する憩室あり、其の中央に空胞を認む。取出せる結石は9.2gにして黄褐色不定形、表面は粗なる顆粒状を呈す。剖面も大體同様にして

輕石の如く多孔性なり。分析の結果磷酸土類なりき。

追加 坪井賢治

形の面白い膀胱結石の1例に就て述べた。

#### 26. 腎臓結核の早期診断早期手術の治験

標本供覽 日下部旦三(廣島)

原稿未着。

#### 27. 腎盞標本供覽、巨大脂肪腫？、結石、結核

佐藤阜一(廣島)

原稿未着。

#### 28. 輸尿管結石竝に結石様症狀の診断竝に治療特に保存的療法に就て

根岸博(岡大)

診断と治療第26巻第1號(昭和14年1月號)に發表せり。

質問 島 薫

1) 「モルフィン—アトロピン」注射の善惡を質問す。2) 結石の大きさと切開術との關係に就て質問す。

質問 坪井賢治

「アヌリー」を起した患者の轉歸に就き質問す。

## 第40回日本皮膚科學會岡山地方會

昭和13年12月18日(日曜日)午後1時より

於岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室

#### 1. 攝護腺肥大症に於ける腎機能に就て

平井正敏(岡大)

追つて原著として發表すべし。

#### 2. 淋疾の「チゼブタール」療法

淺次郎(岡大)

「チゼブタール」は所謂 Sulfonamid 劑の一種で

國産 Uliron である。之を日下淋疾の衝擊療法に應用して居るのであるが投與量は1日3g 衝擊期間は5日間とし5日間の間隔を置いて症狀に依り更に第2第3の衝擊を繰り返した。尚ほ衝擊期間中は出来るだけ局所療法を廢止して純粹の本劑の效果を見る事にした。今日迄の成績では本劑の應用に依り排膿が停止し淋菌の證明出来なくなつた